

ピアノの発表会

千両小・3 羽部 せな

わたしは、5才のときからピアノを習っています。ピアノを始め
た理由は、保育園の先生がピアノをひくのが上手で、わたしも先生
みたいに上手にひけるようになりたいと思ったからです。

わたしが習っているピアノ教室の先生のピアノは白いグランドピ
アノです。家のピアノより大きな音が出ます。

いつもピアノでは、ノートに音を書いたり、先生といっしょに
ピアノをひいたりします。うまくひけたら楽しいですが、弾けない
ときはあまり楽しくありません。なので、うまくひけないときは家で
たくさん練習をしています。練習して上手にひけるようになるとう
れしいです。

毎年8月にピアノの発表会があります。4月くらいに発表会のと
きにひく曲を決めます。先生が見本でいろいろな曲をひいてくれる
ので、その中から自分の好きな曲や合った曲を先生と相談しながら
決めます。今年は、「エーデルワイス」と「さんぽ」の2曲をひく
ことになりました。

「エーデルワイス」は、小学校の朝の歌で歌ったことがある曲だ
からえらびました。むずかしいところは、左手は速くひいて、右手
はゆっくりひくところです。

「さんぽ」は、元気になるような曲で楽しそうだからえらびまし
た。むずかしいところは、左手のリズムと、右手を大きく広げなが

ら速くひくところです。

むずかしいところを練習するときは、先生がわたしの手の上に先
生の手を重ねていっしょにひいてくれます。さいしょはゆっくりひ
いて、ひけるようになったら少しずつ速くしていきます。家で練習
するときは苦手なところを先に練習してから、曲のさいしょからひ
きます。

発表会は、大きなホールでやるので、お客さんがたくさんいます。
いしうは、みんなきれいなドレスを着て出ます。わたしは今年、
水色のドレスを着ました。だから、発表会はとてもきんちようしま
す。

ほかの子のえんそうをききながら、出番を待ちます。わたしの番
より1番前の子のえんそうが終わったとき、ステージの横に動し
ました。もうすぐわたしの番だからすぐきんちようしました。ス
テージの横のいすにすわって待つときに、ひざがブルブルとふるえ
ました。わたしの名前がよばれたので、ステージに立っておじぎを
しました。ピアノのいすにすわったとき、「おちつけ。」と思いなが
らピアノをひきました。上手にひけたので、よかったです。大きな
はく手を聞いて、「終わった。」と思いました。

えんそうが終わって先生のところへ行くと、
「上手だったね。」

と、先生がほめてくれました。ほめてもらえてうれしかったです。
発表会が終わると、また新しい曲を練習します。だんだんむずか
しい曲になっていきますが、いろいろな曲がひけるようになります。
ので、これからも練習をがんばろうと思います。